

広報ふっさ

9月'72
No.126



おもな内容

- 2~3頁 ……老人福祉制度のいろいろ
・一人暮らし老人調査結果
- 4頁 ……・高齢者と雇用
・まちの話題
- 5頁 ……市民総合相談を開催
・出生児にモクセイの
苗木贈呈
- 6~7頁 ……市民体育大会
・市民文化祭出品作品募集
- 8頁 ……老齢福祉年金

『ああドッキリ フイなとび出しあしません』

9月22日～10月1日 秋の全国交通安全運動

今年になって、交通事故は全国的に減少の傾向にありますが、依然としてへらないのが、こどもと老人の事故です。その原因は、こどもは60%がとび出し、老人は横断してはいけない場所での横断が主なものです。そこで秋の交通安全運動は、こどもと老人の事故防止を重点的におこないますが、秋の行楽シーズンをむかえ、人は正しい歩行を、車は安全運転を守り、悲惨な交通事故を防ぎましょう。

市でも各種の援護活動を実施

人生50年といったのは昔の話。出生率の低下と医学の進歩により日本人の高齢化が急テンポで進んでいます。

9月15日の敬老の日をむかえ、今月は老人福祉の現況についてふれてみます。



送迎バスが市内巡回

『憩いの場福祉会館老人施設』

昭和四十五年七月総工費一億三千万円をかけて完成した福祉会館内の老人福祉施設は、昨年度は一万六一四人が利用しました。

この施設は、長い間社会のために尽してこられた人たちが、楽しい老後を過ごせるように建設したもので、冷暖房完備、今年度は一日平均六〇名が利用、常時わいてるお風呂に入り、マッサージ室

で肩をほぐし、将棋、囲碁、おどり、テレビなど楽しみ、また、世間話を花をさかせています。

● 老人クラブの援護

中でも、五月から、激しい交通の

中、また遠方の方も大いに利用していたくために、送迎用のマイクロバスを購入し、市内を巡回しています。六〇歳以上の方で、老人福祉手帳を事務局へ出せば、無料で入場できます。

老人のみなさんの健康維持のた

め、毎月一回福祉会館内で、午前

十一時から午後三時まで、専門の

医師により、六〇歳以上の方の健

康検査を無料でおこなっています。

市内には、六十歳以上の一人ぐらしおよび寝たきり老人は四十一名おります。

このうち女子が三十三名で、そ

の年齢構成は、別表のとおりです

日常生活中では、約半数が医者にかかるおり、ときどきかかる人も含めますと、七三%は健康ではありません。とくに高齢になると、しだがって、医者にかかるには

かかります。しかし、高齢になると、

利用する人が多く、大変好評で

す。

● 老人健康検査

中でも、安心して来られるよう

に、また遠方の方も大いに利用し

ています。

市内

では、今年の五月、市内の一

人暮らしの老人および寝たきり老人

の調査をいたしましたが、このほ

どその結果がまとまりました。

「やがて誰にでも訪れる老後の生

活」この調査結果は、「現在社会

の老人の生活」の一端を示してい

るようです。

市では、今年の五月、市内の一

人暮らしの老人および寝たきり老人

の調査をいたしましたが、このほ

どその結果がまとまりました。

「やがて誰にでも訪れる老後の生

活」この調査結果は、「現在社会

の老人の生活」の一端を示してい

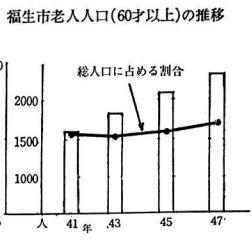
るようです。

市では、今年の五月、市内の一</p

● 老人家庭奉仕員の派遣

市内には、現在一人暮しあるより寝たきりの老人が四十一名おりますが、このうち老衰や身体障害者など、日常生活に支障のある方に對し、市の家庭奉仕員が毎日訪問し、炊事、洗濯、病気の看護その他の必要な家事の世話のほか、地区の民生委員と協力して、助言や指導を行なっています。

● 老人福祉手当



福生市老人人口(60歳以上)の推移
市役所福祉事務所で行ないます。

東京都では、新しく六十五歳以上の方で、病気や老衰などのため、長い間寝たきりの方(日光浴など、庭を散歩できる程度も含む)には、月額300円を支給することになりました。ただし、所得税または市民税を課せられていないこと。また老人ホームなどに入所している方は含まれません。受付は十月一日から市役所福祉事務所で行ないます。

● 医療費の助成

東京都は、七十歳以上の者(六十五歳以上で身体に障害のある者を含む)に対し、扶養義務者の所得に關係なく老人医療証を交付し、無料で受診できるようになります。

まだ該當者で申請手続きをしていない方は、福祉事務所で手続きをし、医療証をうけてください。

● その他

長期にわたっての寝たきりの状態にある低所得の老人に対し、特

● 各種老人ホームへの収容

殊寝台やマットレスを貸します。その他老人世帯向都営住宅への優先的な取扱いや税負担の軽減などもあります。

また東京都では、高齢者で働きたい方のために、高齢者職業相談所をもうけていますが、今年の五月から、福生駅前ふじやビル五階に開設されました。働きたい方また働く人を求めている人は、大いにご利用ください。電話52-1210。

● 敬老の日の行事

毎年九月十五日に、満七十五歳以上で、福生市に一年以上住んでいた方には、三〇〇〇円を支給、また東京都からも都内に一年以上住んでいる方に五〇〇〇円を支給しています。

なお、福祉会館と市民会館で、式典や演芸など敬老大会が、毎年ひらかれます。

● 所得保障(国民年金)

昭和三十六年から、国民皆年金の制度ができ、国民はすべて職域を中心とする厚生年金保険や各種共済組合の年金制度(または国民年金に加入しており、十分ではありませんが、老後の所得が得られるしくみになっています)。

国民年金の老齢年金は一定の保険料をおさめると六十五歳から支給されますが、昭和三十六年四月一日に五十歳をこえていた方は、保険料をおさめなくてはならない。いまのところ、この福祉年金は、扶養義務者の所得に制限があり、すべての人に支給されますが、国では、みんなが受給できるような所得制限をくす方向にむかって、運動を続けています。

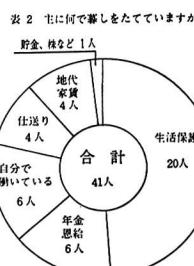
なお詳しいことは、八頁をご覧ください。

たとさなどは大変心配です。住まいも七〇%が借家か借間に住んでおり生活も大変のようですが、そのときは大変困るようです。

市家庭奉仕員もこのように他のお世話をしておりますが、病気の中でもっとも問題となるのは、四十一名中、二十九名の方はこどもさんがおられることです。

以上、一人暮しある寝たきり老人の生活実態を見ましたが、この中で最も問題となるのは、四十一名中、二十九名の方はこどもさんをしなければならない。

十三名のこどものいない方の一人暮しはやむをえないとしても、こどもがいながら淋しい一人暮しがしなければならない。



ものではありません。食事も四十一名中、三十八名が自分でつくておりますが、病気のときは大変困るようです。

老人福祉の原則は、老後もできるだけ家庭で、止むをえなければ老人施設であるといわれていますが、福祉制度の充実がこの扶養義務感をうすらいたるものにしてしまってよいものではあります。この問題については、みんなでともに考えてみたいものです。

高齢者と雇用

福生高齡者
職業相談所長

A black and white portrait of Wang Kang, a man with short hair and a mustache, wearing a light-colored shirt.

日本にござ
るまことに、
今まで、福祉行
政の充実より
も、産業基盤
の拡充に力を注
ぎ、とにかく
く経済の高度成長をおしすすめてき
ました。この点北欧やスイスな
どは、経済で世界一にならなくて
もよいから、社会的弱者に手厚く
手をさしのべています。
ようやく日本でも七十歳以上の
老人医療は、無料化になつてはき

GNPが世界第二位であるといわれながら、どうして福祉行政に遅れがあるのか、また実感として生活水準が低いのでしょうか？ともかく、科学的進歩率により平均寿命が伸び、反面出生率が低下して、人口の老齢化はどんどん進んでいます。

の後退から、その伸びは、若年層に比べ少ない反面、教育費や居住費等の支出が増え、一方、年金の給付水準が低いことや、核家族化の進行による子からの扶養期待が高まることで、年々年金の支給額が増えており、無職者は一四%でそのうち八七%の者が仕事をしたと希望されています。

程度にすぎない状況です。また、継続雇用されなかつた者の四一%が失業の経験者で、就業している者の七二%は定年前より収入が低下しており、しかも「働きがないと生活に困る」というものが八二%にも達しているとのことです。

五年から、高齢者専門の職業相談所を設け、積極的にこの問題にとりくみ、着々と成果をあげつきましたが、本年五月から福生市にも、とともに六番目の高齢者職業相談所が、福生駅前ふじや五階に開設されました。

そしてはからずも私が高齢の方々と毎日接触する機会を得て、職業相談に一生懸命努力し、少しでも当地区の高齢者のお役につくことができるよう専門相談員六名と共に職業の安定に励んでおります。

どうぞ地元の皆様が気軽にご利用ください」とお待ちしております。

福生市婦人会が 高齢者を訪問

森田リンさん95歳

会のみなさんが長い間社会のためにつくしてこられた方に感謝の意を表し、また病気の方は一日も早く全快して長生きしてもらいたいと、毎年おこなっています。

おとしよりのみなさんも、お見舞をいただいて大喜び『まことに来年会いましょう』と元気いっぱいでした。

福生市婦人会が高齢者を訪問
森田リンさん95歳

会のみなさんが長い間社会のためにつくしてこられた方に感謝の意を表し、また病気の方は一日も早く全快して長生きしてもらいたいと、毎年おこなっているのです。

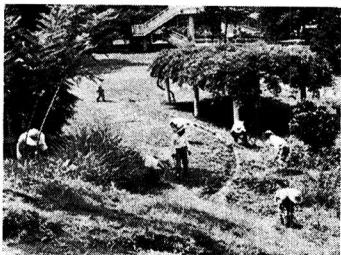
おとしょのみなさんも、お見舞品をいただいて大喜び『また来年会いましょう』と元気いっぱいでした。

なお、市内の最高齢者は、森田リーンさん、95歳（福生四八〇森田惣助さん方）でした。

写真は森田リーンさんを訪問するみなさんです。

連合会のみなさんは、自主的に毎月一回福生公園の清掃をはじめました。が、今では役員以外の人も多数参加し、清掃を続けております。これは、福祉会館にくつろぎに来るみなさんが、このような施設をつくってもらったのだから、公園の清掃は、自分たちで行なってきれいにしようと自主的に行なっているのです。

参加者のみなさんに感想を聞きますと、「汗をかいて、一風呂あびるのは格別です。お昼もうまいしなによりも健康保持よいですから」と語っていました。



が、有吉佐和子の「恍惚の人」がたくさんの人々に読まれるゆえんも、このへんにあるのではないで

望しています。雇用者のうち五八%は勤務先を変つた者であつて、しかも出身企業より小規模に移る

ることを指導するなど、ようやく前向きの姿勢で、高齢者の生活安定化を図る方針に傾いてきたよう

